

原子力安全対策に関する最近の取り組み

市政だより3月号

避難計画の充実と丁寧な説明を 県に要望

県内全30市町村で構成する「市町村による原子力安全対策に関する研究会」は、実務担当者会議を開催し、県から原子力災害の広域避難計画案の説明を受けました。

出席者からは「住民はスクリーニング（放射性物質の付着の検査）や安定ヨウ素剤の配布体制に不安があるので、丁寧な説明を」「病院や福祉施設の避難先の確保と関係者への研修を行ってほしい」などの意見や要望が出ました。

代表幹事の磯田市長は「県と協力して、避難計画の実効性を高めていきたい」とあいさつ。昨年11月に柏崎刈羽原発で発生したケーブル火災を受けて、東京電力ホールディングス(株)に対

市町村、国、県の担当者など約60人を前にあいさつする磯田市長



し「このような事故を二度と起こさないよう、安全対策を徹底してほしい」と求めました。

市は今後も、研究会を通じて国や県などと連携し、原子力安全対策に取り組んでいきます。（1月31日）

市政だより6月号掲載予定

原子力安全対策の取り組み

市町村研究会が福島県内を視察

県内全30市町村で構成する「市町村による原子力安全対策に関する研究会(代表幹事・長岡市長)」の実務担当者31人が、5月9日・10日に福島県内を視察しました。

福島第一原子力発電所と廃炉資料館では、従業員から事故当時の様子や廃炉作業の現状を聞いたり、周辺地域の被災状況を直接見たりすることで、復興の現状について学びました。

いわき市役所では、災害教訓を生かした原子力防災訓練の実施など、避難計画の実効性向上の取り組みについて学びました。

福島県庁では、産業創出による復興・創生の状況と原子力災害時における医療行動計画などについて、意見交換をしました。

今回の視察で得たことを、今後の原子力安全対策に活かしていきます。

いわき市役所での意見交換（5月10日）



長岡市原子力防災ホームページ をご利用ください

原子力安全対策室では、原子力防災の情報を発信する「長岡市原子力防災ホームページ」を開設しました。

万が一の災害に備え、ぜひ情報収集にお役立てください。

問 原子力安全対策室 ☎ 39・2305



▲スマホ版トップ画面

<アドレス>

<http://portal.radiation.city.nagaoka.niigata.jp/>

<QRコード>



原子力安全対策の 出前講座を実施しています！

原子力安全対策室では、**町内会や自主防災会を対象にDVDと資料を活用した出前講座を実施しています。**

原子力災害時に、正確な情報に基づき冷静な対応をとるためには何が必要か専門の講師が分かりやすく説明いたします。ぜひ、お気軽にお申込みください！

問 原子力安全対策室 ☎ 39・2305

屋内退避が重要と聞いたので
詳しく講師に聞いてみよう！

